

# 2026 年度 国士舘大学大学院経済学研究科

## 研究生 募集要項

### 1. 研究生制度の目的

本研究科における研究生制度は、基本的には本研究科研究生終了後に本研究科の修士課程または博士課程への進学のための調査研究能力の向上を目指す者に対して、所定の在籍期間中の特定課題研究を認めるものです。

また本研究科では、研究生が所定の在籍期間を終えた後に、大学院入学試験を受験する場合、入学試験は大学院入試の選考区分に準じて行われます。

なお、在籍期間は原則1年（2026年4月1日～2027年3月20日）とします。

### 2. 募集人員

若干名

### 3. 審査日程

#### 第1次選考（書類審査）出願受付期間

2026年1月13日(火)12時～2月12日(木)16時

＊出願フォーム・研究計画書による応募

(選考日程)

第1次選考（書類審査）：2026年2月13日(金)～2月16日(月)

＊出願フォーム・研究計画書により審査を実施します（ただし、経済学研究科Ⅲ期入試も同時に出願する場合は、Ⅲ期入試と同じ研究計画書の内容を提出して構いません）。

第1次選考合格者発表：2026年2月18日(水)

＊メールにて合否通知を行います（第一志望または第二志望、どちらでの合格かも併せて通知します）。

#### 第2次選考（面接審査）出願受付期間

2026年2月24日(火)10時～2月27日(金)16時

＊所定の出願書類および検定料10,000円を大学院課窓口に提出

(選考日程)

第2次選考（面接審査）：2026年3月8日(日)

＊面接時間はメールにて連絡します。

第2次選考合格者発表：2026年3月11日(水)

＊郵送にて合否通知を行います。

<入学手続締切日 2026年3月末日>

※ 経済学研究科の研究生を希望する者は、経済学研究科Ⅲ期入試の受験を強く推奨します。また、上記の研究生出願手続きを行い、尚且つⅢ期入試を受験し不合格となった者が研究生を希望する場合は研究生の第2次選考（面接審査）を免除し、研究生として優先的に受け入れます。

#### 4. 出願資格

下記各号のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位を有する者、または 2026 年 3 月までに学位取得見込みの者。
- (2) 外国において修士の学位を授与された者、または 2026 年 3 月授与される見込みの者。
- (3) 研究生終了後に本研究科の修士課程への進学を希望する者で、次のいずれかに該当する者。

- ①大学を卒業した者、または 2026 年 3 月までに卒業見込みの者。
- ②外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者。
- ③大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。

ただし、日本語以外を母語とする者は、一定の日本語能力を有すること。なお、日本国以外の国籍を有する者は、受入確定後に、「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」の取得、または「留学」への変更が可能な者に限る。

#### 5. 出願方法

##### 1) 出願申込

第 1 次選考（書類審査）：出願フォームと研究計画書の WEB 提出

第 2 次選考（面接審査）：第 1 次選考合格者のみ、出願受付期間内に本人が窓口へ出願書類提出。

(受付時間 10 時～16 時、受付場所：世田谷キャンパス 8 号館 1 階大学院課)

※入構時にあたっては、大学院課の指示に従ってください。

なお、出願書類提出時に検定料 10,000 円を大学院課窓口にて納入していただきます。

#### 6. 志望科目の選択

次の受入予定科目の中から、第一志望科目および第二志望科目を選択してください。

なお、「4. 出願資格」(1)・(2)に該当する者は、\*の付いている科目が受入予定科目となります。

マクロ経済学研究、計量経済学研究\*、経済統計学研究\*、金融論研究、経済学史研究、ヨーロッパ思想史研究、国際マクロ経済学研究、国際経済論研究、アジア経済論研究\*、多文化社会経済研究、労働経済論研究、企業経済論研究\*、情報産業論研究、経済政策論研究、国際租税法研究\*

#### 7. 検定料および学費

第 2 次選考（面接審査）の出願に際して検定料 10,000 円（本学卒業者・修了者は免除）の納入が必要となります。検定料を納入していない者の第 2 次選考（面接審査）は行えません。

また、受入にあたり登録料 20,000 円（本学卒業者・修了者は免除）および研究費年額 360,000 円（本学卒業者・修了者は 120,000 円）の他に学生教育研究災害障害保険料の納付も必要となります。

#### 8. 出願書類および検定料の返還について

一度受理した書類および支払った検定料は、原則として返還いたしません。

#### 9. その他

受験上の注意事項、入学手続き、学費等の事務上の手続きについては、大学院課で確認してください。